



新・みやぎ・シー・メール第6号

発行：平成30年8月31日

宮城県水産技術総合センター 〒986-2135 宮城県石巻市渡波字袖ノ浜 97-6

TEL: 0225-24-0159 FAX: 0225-97-3444

ホシガレイの放流について

養殖生産チーム

ホシガレイについて

ホシガレイは、マツカワ属に分類されるカレイ科魚類で、成長すると大きいもので60cm程度になります(図1)。特徴としては、背ビレや尾ビレなどに円形の斑点があり、宮城県では「はだかれい」、「こうはだ」などと呼ばれています。日本では、北海道以南から九州にかけて分布し、県内では刺し網や底曳き網などで漁獲されます。旬は初夏から初秋で、刺身や煮付けなど大変美味しい魚です。



図1 ホシガレイ成魚

種苗放流の取り組み

ホシガレイは成長がとても早く大型になること、市場での単価が高いものでは20,000円/kgを超える高級魚であることから、新たな栽培漁業の対象として各地で注目されています。県では平成7年度からホシガレイの種苗生産・放流に取り組んでおり、昨年度までに平均全長3~10cmの稚魚を約80万尾放流しました(図2)。

今年度も7月30日と8月1日に当センターで生産し、中間育成した平均全長8.4cmの稚魚6.5千尾を荒浜漁港と亘理町荒浜沖へ放流しました。

また、(国研)水産研究・教育機構東北水産研究所宮古庁舎で生産した種苗を宮城県水産振興協会及び漁業者が中間育成し、平均全長8cm

尾数(千尾)

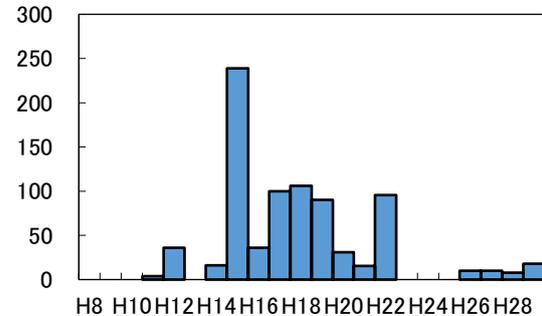


図2 宮城県内におけるホシガレイ放流尾数の推移
の稚魚約20万尾を県内3地区に放流しました(図3)。



図3 稚魚の放流

今後の課題

ホシガレイの種苗生産を今後も継続して行くには、費用対効果(放流魚の水揚げ金額÷放流種苗の生産コスト)を高めていく必要があります。そのために当センターでは国や他県の研究機関などと連携し、放流種苗の生産コストの大幅なコストダウンを図るため緑色LED光による成長促進や止水飼育による種苗生産費低減などの試験研究を行っております。

※今年度放流した種苗は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)」の支援を受けて行った研究の成果物です。

宮城県水産技術総合センター

ホームページ URL: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>